

2022オンライン国際学部ウィーク（9月14日～9月16日）質疑応答

※重複している質問は省略し、まとめて回答しております。

宇都宮大学の国際学部の強みや特色はなんですか。	下記国際学部ホームページに掲載しております「国際学部パンフレット」pp.9-10, 26-27.をご確認ください。 https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/about/document.html
宇都宮大学の唯一性や入学して他の大学より有利だと感じた点がありますか。	また、下記国際学部ホームページにてゼミ紹介や講義動画を掲載しております。 https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/topics/opencampus_2022.html
試験当日に注意すべきことはありますか。	各募集要項の「受験上の注意事項」をご確認ください。
在宅でのオンライン授業はどのくらいの頻度で行われますか。また大学での授業はどのくらいの頻度で行われますか。	現在は、原則として時間割どおり対面授業で実施しています。ただし、集中講義等の一部授業で、オンラインを活用した授業もあります。
学校推薦型選抜Ⅰの自己アピールの時間は1人大体何分ぐらいか、課題文を読んで内容について考える時間は何分ぐらいか等、試験中の時間配分について教えてほしいです。	40分程度の集団面接を行います。時間配分は非公表事項のため、申し訳ございませんが、お答えできません。
学校推薦型選抜Ⅰの面接は通常通り行われますか。過去の集団討論の課題文の課題文を見ることができますか。	入学者選抜要項や募集要項に記載のとおり、実施を予定しております。過去の課題文は下記ホームページに掲載しております。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/past-faculty-questions.php
入試当日の日程などはいつ頃発表になりますか。	入試日程は下記ホームページに掲載しております「入学者選抜要項」にて公表しております。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php
寮について。	下記ホームページをご確認ください。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/dormitory.php
就職にどのくらい強いでしょうか。	下記ホームページをご確認ください。 http://www.career.utsunomiya-u.ac.jp/statistical_data.html
最寄り駅から何分ぐらいかかりますか。	駅からバスで約15分程度です。詳細は下記ホームページをご確認ください。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/map/access.php
日々の課題の量はどのくらいでしょうか。	履修する授業により異なります。教員名や科目名が分かれば、下記ホームページが参考になります。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/syllabus.php
留学の制度について。	下記ホームページをご確認ください。 https://intl.utsunomiya-u.ac.jp/study/study01.php

2022年9月14日「国際学部と多文化公共圏センター」

※学生の回答内容は、当日説明を担当した学生による体験を紹介したものであり、学部としてのアドバイスではありません。

国際学部を進学先に決めたきっかけは何ですか。	学生1：私が国際学部に興味を持ったきっかけは、国際は一つのくくりではあるが、環境問題や国際法の問題、外国人児童生徒の問題等、多様な問題について取り扱っていることをオープンキャンパスの模擬講義を聞いて知り、もっと自分の持っている視野を広めたいと思ったことがきっかけです。実際に入ってから、現在3年生ですが、1年生の時にコロナが流行り、留学を考えていたがその機会も失われていた時に、今の環境のゼミでローカルに視点を向けた研究を行っていて、そこでモチベーション、自分のやりたいことを見いだせています。
	学生2：私は宇都宮大学を受験すると決めたのは試験の直前でしたが、個人的に高校時代英語が好きだったこと、もうひとつ違う言語も学びたいと思っていたこともあり、まだ高校時代は何を学びたいかしっかりと決まっていなかったが、国際学部は色々な分野を学ぶことができる中で自分が学びたいことを決めたいと思い、宇都宮大学に入学を決めました。宇都宮大学に入学してからは、思った以上に色々な分野のこと、それぞれの分野で1つ授業を取得する仕組みもあるため、色々な授業を受ける機会があり、その授業を受けるまではあまり興味ないと思っていた分野でも、受けてみると面白いかもしれないと感じる部分もあり、良かったと思います。それで、その授業を受ける中で、環境についてもっと学びたいと思い、今の研究室に入ることを決めました。
	学生3：最初はあまり宇都宮大学は考えていなかったのですが、HANDSとの出会いが自分の中で大きく、国際的な何かをやりたいという漠然としたイメージはあったのですが、たまたま高校2・3年生ぐらいの時にHANDSとの出会いがあり、そこで問題を知り、自分もすぐにサポートや関わることができるかもしれないと思い、国際学部が気になったのが一番のきっかけです。 入学してからは、私は日本人しかいない環境で育ってきたので、国際学部に入學して、自分と同じような日本で生まれて育っている外国人の人や、ハーフの人、高校生の時に留学していた人等、様々な人達に出会い、具体的な言葉にはできないのですが、発見があったこと、また、HANDSや実践の場があることが一番自分の中で大きなことだったと思います。

受験期にどのような勉強をしましたか。	学生1：時事問題やSDGSをしっかり学んでニュースや新聞記事は最近のものを勉強し、別の大学の同じ推薦入試希望者と一緒にディスカッションを行ったりしていました。また、面接の練習も友人と一緒にしたり、先生に見ていただいたりして、とにかく数をこなしていたと思います。 学生2：私はセンター試験を受験し、一般選抜(前期日程)の試験が英語及び小論文でしたので、試験に向けて英語の勉強及び小論文は何回も書いて先生や塾の先生に見て添削してもらうことを繰り返していたと思います。 学生3：入試は推薦で入りましたが、様々な新聞社の新聞、社説等も読み、ノートに意見や自分が考えたことをまとめていました。また、学校での取り組みや学校での準備は、同じようにディスカッションを入試にしている人達と一緒にディスカッションをして実践していたと思います。
外国人児童生徒教育において、実際に外国人の児童の方々や親御さんと接する上で特に難しいと感じたことがあれば教えてください。	保護者は子供の日本語はできているので問題ないと感じているが、学校側はその子の日本語に問題があるため学習支援を受けさせたい、日本語教室に行かせたいと相談を受けたことがありました。その保護者の感じていることと学校側のギャップがあるということを、親に伝えるのが難しいということはありません。
日本語教育Ⅰ・Ⅱを学んだら、日本語教師の道はひらけますか。	令和3年度入学者より、日本語教育プログラムは廃止しています。 また、本学での課程を受講すれば日本語教師の資格を取得できるという指定は受けていません。
授業で学んだことを実践できるとおっしゃってましたが、立花先生の授業では今具体的にどのようなことが学べますか。	私自身は多文化共生教育という科目を持っています。グローバル化と外国人児童生徒教育の担当をしたこともあります。ただ、読んだことがそのまま実践になるということではなく、読んだもの、教室の中で勉強したことと、実際に出ていった時に違っていたり、新しい発見があったり、間違っていて理解していたことに気がついたり等、そのようなことも含めて実践的な学びと受け取ってもらえたらと思います。

2022年9月15日「国際学部のゼミを訪問」

※学生の回答内容は、当日説明を担当した学生による体験を紹介したものであり、学部としてのアドバイスではありません。

国際学部の卒業生の方々は、どのような就職先でご活躍されているのでしょうか。	卒業生の就職先一覧はこちらをご確認ください。 https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career/
国際学部の先生は全員ゼミを持っていいらっしゃるのでしょうか。	全員ゼミを持っています。
紛争下の兵士、子供兵士の社会復帰について学べるゼミはありますか。	清水教員の国際連合・国際機構を中心としたアプローチ、国際法で国際人道法・国際人権が専門の藤井教員のゼミで学ぶことができます。
国際的な問題を勉強しながら、受験勉強するという両立はどうやってやっていましたか。	学生1：私が高校生のときは、周りは一般選抜で受験する人達が多かったため、勉強は周りの雰囲気に合わせているような形でできましたが、国際的な内容に関しては、自分でインターネットでスキマ時間に調べたり、新聞を読んだりする等、常に今、世界で起きているニュース等に敏感になるのがすごい大事だったと思います。
	学生2：私は一般選抜でしたが、勉強もしつつ、2次試験の小論文対策のためにネタとして一つ持っておきたいことから、常にニュースや新聞はチェックしていました。
	学生3：私は早い段階で推薦入試を受験しようと思っていましたので、できるだけ3年生になってからは国際系の知識を付けようと思い、時間をそちらの方に割いていました。ただ学校から、推薦入試がもし駄目だった場合、一般入試での受験が必要だと言われていたため、補習やバランス取りながら毎日何時間は受験勉強をしつつ、推薦入試の勉強するというように自分でできるだけ管理しながら、周りの先生からもそのように管理するよう指導を受けつつ、できるだけするようにしていました。
	学生4：国際的な分野の勉強と受験勉強の両立ができていたか、あまり自信はありませんが、国際的な分野でどのように見なければよいかあまり知識がない状態では、ニュースを見てもあまりわからなかったり、興味も持っていなかったりするので、新書、特に自分は宇都宮大学の教授が出版している本を見て、それで自分が気になっている分野をちょっと調べてみる等、息抜き感覚で、当時は何が取っかかりがどこかにないかという感じで勉強していたと思います。
	学生5：私はセンター試験(現在の共通テスト)の時期までは、いわゆる受験勉強と言われる勉強しかしていませんでした。そのセンター試験が終わった後に、宇大の試験に向けて小論文等のためにネタ作りや知識をつけておくために、ニュースを少し見る程度で、特に国際問題の勉強をしていたということはありませんでした。

クラスの編成はどんな感じですか。	クラスはありません。1学年(100名ぐらい)に学年指導教員が3名つきます。3年生の後期から各教員のゼミに入り、各教員のもとで少人数でやっていくことになります。
今の時期に交換留学生は来ていますか。	派遣及び受入ともに交換留学を行っています。
国語の試験科目に漢文は含まれますか。	大学共通テストの試験科目として「国語」を課していますが、国際学部の個別学力検査は、小論文と英語の2科目です。
英語以外の2つ目の言語は必修でしょうか。	2つ目の言語として、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語の4つのうち1つが必修です。
国際学部という基盤教育のEPUUでは、具体的にどのような内容の授業が受けられますか。	下記大学のホームページに掲載しておりますシラバスで確認することができます。なお、EPUUは国際学部ではなく基盤教育センターにあり、すべての学部生が主に1, 2年次に履修する英語プログラムです。 https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/syllabus.php EPUUのページは下記のとおりです。 http://hae.utsunomiya-u.ac.jp/epuu/
貧困の状況にある国の子どもたちの教育に関することを学ぶことは出来ますか。	地域別では、アフリカが専門の阪本教員のゼミ、南アジアが専門の栗原教員のゼミで学ぶことが可能です。
交換留学する際に条件のようなものはありますか。	大学内での選考の際に審査があります。選考は志望大学やその理由を書いた申請書や語学力、成績等を総合的に判断しています。 また、相手先の大学によっては条件があります。
交換留学は毎年何人程度行くことができますのですか。また、留学地域や学校は自分で選ぶことができますか。	協定校毎に人数の制限があります。留学先は、希望する留学先を第2希望まで記入し、申請いただいています。詳細は下記ホームページをご確認ください。 https://intl.utsunomiya-u.ac.jp/within/009991.php
留学時に資金面での大学からの支援は何かありますでしょうか。	各種奨学金があります。詳細は下記ホームページをご確認ください。 https://intl.utsunomiya-u.ac.jp/university/university02-02.php#outbound
JICAなどの国際団体に就職された方はどのくらいいらっしゃいますか。	国際団体に就職した人数は提示できませんが、実際の就職先名や業種別人数は下記ホームページをご確認ください。 https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career/
海外の大学院への進学者はいますか。	海外の大学院への進学者もおります。進学先は下記国際学部ホームページに掲載しております「国際学部パンフレット」p30に掲載しております。 https://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/about/document.html

2022年9月16日「国際学部と国際協力」

国際的なボランティアや海外研修にも参加する上での条件はありますか。	授業になりますので、授業を受講していることが条件になります。
海外研修は交換留学などとは異なり、希望する人全員が希望する国に行けますか。また、具体的にどのくらいの期間、何をするのでしょうか。	授業の場合は授業を受講していることが条件になります。また、ゼミ単位でゼミ合宿のような形で行くこともあります。そのため、カリキュラムを確認してその授業やゼミに入っていただければ、海外研修に行けないことは無いと思います。期間は授業によって異なりますが、1～2週間程度です。
どのような基準でスリランカなどへの活動に参加できるようになりますか。	例えばUU-teaプロジェクトでしたら誰でも参加可能です。海外研修であれば授業を受講していただくことが条件になります。
スリランカの研修への派遣は毎年行っているのでしょうか。	感染症により2・3年中断するまでは毎年行っていました。今年は実施する予定です。
国際的なボランティアをしたい場合、どのような活動がありますか。	例えば各教員が取り込んでいることに参加するということもありますし、インターンシップ等、様々な選択肢があると思います。また、現地ガーナで日本人の補習校からの子供達のサポート等、ボランティア活動に参加しています。ボランティア活動を自身で探す人が多いですが、教員も情報がありますので、遠慮せずに相談すると良いと思います。 国際協力というのは専門ではなく、国際協力はアクティビティ、活動ですので、自分の専門が国際協力の中のどの分野だというのは、しっかり考えていかれるのが良いと思います。保健・人権・開発等、様々な分野がありますので、その中で好きなことがあれば、そこからボランティア先を見つけるのは非常に簡単かと思います。また、少し厳しいことを言うのならば、ボランティアは誰でもできるように聞こえるかもしれませんが、もし海外で働かれるならば、受け入れ機関はボランティアを受け入れるために様々な調整をしなければいけないため、当然ながら責任を持っていかなければならないということになると思います。最低限語学力を高めることがすごく大事だと思いますし、現地のことを知っておくことも当然大事です。 そのため、アクティビティとして活動するのはすごく良いことですが、そのための準備や事前の知識というものも、ぜひボランティアされる時には意識して取り組んでいくと良いと思います。
留学制度はゼミで決まるのですか。	留学制度はゼミによって決まるのではなく、大学で一括して募集をしていますので、ご自身で留学先を選んで申し込んでいただくことになります。

留学先に台湾やスリランカなど公用語が英語ではない地域もありましたが、そのような場合、それらの言語の勉強も必要なのでしょうか。	入学してから第2言語を勉強しますので、選択した言語に興味がある方はその言語の留学先を選ぶ人が多いと思います。 なお、スリランカは英語が連結語のため問題ないと思いますが、現地で生活する場合は現地の言語ができた方がよいと思います。
栗原先生の授業では具体的にどのようなことを学び、国際協力について学べることはどのようなことなのでしょう	国際協力はいわゆる横断的テーマといいまして、様々な分野や要素が入っておりますので、一概に言いにくいところはあります。 例えば政府のODAやNGO等どのような人が実施しているかという切り口や、現地から見た場合に、例えば貧困削減や教育、保健運営等あります。そのため、15回の授業ではなかなか全て伝えきれないところはありますが、大学ではそのような全体の概論を把握していただき、その中で興味がある分野等にご自身でもう少し深く調べていただければよいと思います。
栗原先生の下では、貧困などの子供たちの教育に関することは学べますか。	入って学ぶことは可能です。
推薦入試を受ける場所は宇都宮市だけですか。	入学者選抜要項や募集要項に記載のとおり、通常の対面での実施を予定しておりますので、会場は宇都宮大学です。
第3年次編入での入学後、周りの学生との知識の差を感じましたか。編入前は独学で宇都宮大学国際学部について勉強しましたか。	学生：入学前は文系の全く別の分野を学んでいたもので、国際の知識は全くありませんでした。ただ、宇都宮大学に3年次編入するには、小論文や口述試験で国際の知識や卒業論文について聞かれると事前に分かっていましたので、国際関係の本を図書館や本屋で買って読んで基礎的な知識をつけるようにしていました。入学してから、もちろん分からない専門用語や専門的な分野もありますが、あまり困ることはなかったと思います。 今知識をつけておけば入学してからの他の学生とのギャップも縮まると思いますので、ぜひ受験まで頑張っていただければと思います。
英語や第2言語の授業は充実していますか。	第1外国語としての英語の授業も様々なものが用意されておりますし、様々な第2言語の授業があるのが国際学部の特徴になっております。
毎年チューター制度はできているのでしょうか。留学生の人数が少ない年はどうしているのでしょうか。	感染症により留学生が少ない年はチューターになる方も少ないですが、基本的に交換留学等で毎年一定数の留学生が来ていますので、毎年チューター制度も実施しています。